広島大学

第 196 回 学長定例記者会見　発表事項 1

令和８年 10 月 28 日

広島大学改革の舞台裏の記録
『なぜ広島大学は変われたのか あがき続けた 12 年の足跡』を刊行

【概要】

広島大学の越智光夫学長が、12 年間にわたる大学改革の歩みを綴った著書『なぜ広島大学は変われたのか　あがき続けた 12 年の足跡』が、10 月 25 日、株式会社中央公論新社から刊行されました。

本書では、運営費交付金の削減など、国立大学を取り巻く厳しい環境の中、世界大学ランキングトップ 100 への挑戦をはじめ、教育・研究改革、国際化、地域との連携、新型コロナウイルス感染症への対応など、さまざまな課題に向き合ってきた日々を、越智学長自身の視点から振り返っています。

また、「平和を希求する精神」を建学の理念とする広島大学が、平和への使命を受け継ぎながら、どのような思いで改革に取り組み、数々の困難を乗り越えてきたのか、その舞台裏や試行錯誤についても紹介しています。

大学改革の実践を通じて得られた経験や教訓とともに、これからの大学のあり方や高等教育の未来や地方創生についての提言をまとめた一冊です。

【本書の主な内容】

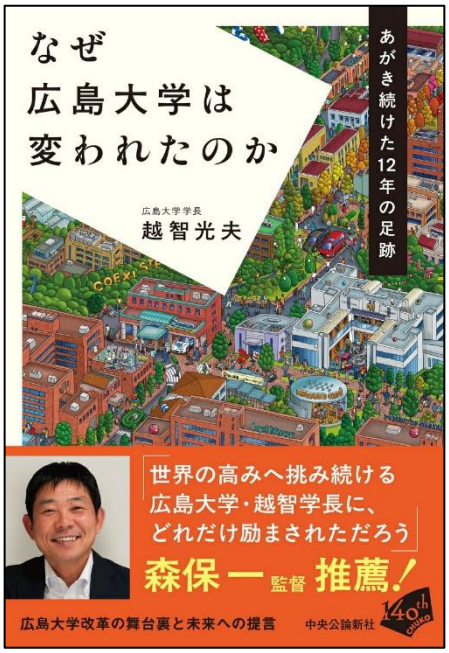
本書は全８章で構成され、教育・研究、地域連携、国際化、平和への貢献、大学運営など、多岐にわたる改革の取り組みを紹介しています。

〈目次〉

第１章　広島大学は世界トップ 100 に入ったか
第２章　教育――新しい学びの地平を拓く
第３章　研究――研究大学としてどこで勝負するか
第４章　社会に開かれた大学へ――地域と共に未来を創る挑戦
第５章　国際戦略――広島から広がる国際ネットワーク
第６章　平和の大学
第７章　ガバナンス改革
第８章　山極壽一氏×越智光夫学長 対談

【書籍情報】

- **書名**：なぜ広島大学は変われたのか　あがき続けた 12 年の足跡
- **著者**：越智光夫（広島大学長）
- **出版社**：株式会社中央公論新社
- **刊行日**：2026 年 10 月 25 日
- **判型**：四六判
- **ページ数**：216 ページ
- **定価**：2,090 円（税込）
- **ISBN**：978-4-12-006067-0



【参考】中央公論新社 書籍紹介ページ
https://www.chuko.co.jp/tanko/2026/10/006067.html

【お問い合わせ先】

財務・総務室　総務・広報部
E-mail：koho@office.hiroshima-u.ac.jp